

詩を味わおう

めあて

たとえの表現に注意して、短詩のおもしろさを味わおう。

Aの詩

「ここには、ねぎぼつず」みすかみかすよ
の詩を拡大して提示する。その際、**地底**
ロケットの部分カードなどで隠しておく。

ねぎぼつず
絵や写真

・ねぎぼつずの形・・・打ち上げられた「ロケット」のよう
・地面「ではなく」地底「・・・奥底から勢いよく上がる感じ」
短い詩の中に、なるほどと思える表現がある。

Bの詩

「ここには、ケムシ・」(まど・みちお)
の詩を拡大して提示する。その際、題名「ケ
ムシ・」の部分をカードなどで隠しておく。

ケムシ
絵や写真

・さんぱつはきらい・・・毛を切られるのがきらいなのだろつ。
毛がたくさん生えている生き物だろつ。
なぜそつ思ったのか理由をいろいろ想像することが出来る。

他の作品

「ここには、」動物いろ
いろ(まど・みちお)
の詩を提示する

「ここには、」すいぞく
かん(夢虹二)の詩を
提示する

たとえの表現を使った詩はおもしろい。

四つの詩に共通する短詩のおもしろさ

短い言葉の中になるほどと思える表現があ
る。
なぞ解きになっている。
そのもの持ちょうをたどっている。
そのものの「願ひ」を想像して書いている。



短詩を作ってみよう。
作った詩をお互いに
紹介し合おう！

1 / 3 時間目 指導略案 使用するワークシート・・・
活動のねらい

なぞ解き、比喩などの表現に注意して短詩のおもしろさを味わうことがで
きるようにする。

1 学習のめあてをもつ。

いくつかの短詩の題名あてクイズを通して、比喩表現に気付く。

(例) 色とりどりの秋の絵はがき **おちば**

学習のめあてと見通しをもつ。

比喩表現を使った短詩を学習することを通して、詩のおもしろさを見付けるといふめあて
をもたせる。

2 「ねぎぼつず」の詩を鑑賞する。(Aの詩)

【発問】ねぎぼつずのことを、作者は詩にどのように表現したのでしょつ。

「」から「打ちあげられた」の言葉を手掛かりに考えましょつ。

に言葉を入れて、その理由を話し合つ。

「地面から」と「地底から」のイメージの違いを考える。

たとえの表現(比喩表現)が使われていることに気付く。

3 「ケムシ・」の詩を鑑賞する。(Bの詩)

「さんぱつ」の意味を確認し、叙述から想像をふくらませて、題名を考える。

考えた題名とその理由を話し合つ。

4 他の短詩の題名を考える。

まど・みちおや夢虹二(ゆめこつじ)などの短詩を提示し、詩の中の言葉から
想像をふくらませて題名を考えさせる。

5 短詩のおもしろさをまとめ、次時への見通しをもつ。

四つの短詩に共通する表現上の特徴を話し合い、学習したことをまとめる。

次時に学習することについて話し合い、見通しをもつ。

・詩の創作(詩の書き方) ・音読して聞き合つ(音読の工夫)

評価1 比喩、反復、なぞ解きなどの表現を楽しみ、想像して味わっている。
評価2 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。